

第16回日本手話教育研究大会

暦の上ではもう夏、万物もいっせいに活気付いているかのようです。

さて、第16回日本手話教育研究大会を下記の要領で開催いたします。

本大会では日本大学の内堀朝子氏をお招きし、「言語・ことば・言葉」って何？ - 言語理論の視点から- について基調講演を行います。また手話教師センターより日頃の実践などの発表を行います。

また、パネルディスカッションにて手話言語学者、手話通訳養成機関の教官、そして、国内で唯一日本手話による教育を行う明晴学園、手話教育に明るい人選を揃え、「日本手話教育～手話言語条例制定からみた日本手話教育のあり方～」についてそれぞれの想いを述べていただきます。手話言語条例からみた日本手話教育に、明るい未来はあるのか？ ？ろう教育現場に日本手話はこれまで以上に浸透するのか、会場の皆さんもパネラーと共に考えてみませんか？

ご家族、ご友人、知人の方をお誘いの上、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時：2016年7月2日（土）10:00～16:00（受付開始9時30分～）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター棟 417号室

最寄駅：小田急線参宮橋駅から徒歩8分

定員：200名

参加費：法人会員3,000円 サポーター3,000円 一般4,500円 学生2,500円

（当日参加：法人会員3,500円 サポーター3,500円 一般 5,000円 学生 3,000円）

※当日はNPO法人手話教師センター会員証及びサポーター証を忘れずにお持ちになり、受付でご提示ください。

（会員証提示なき場合、一般参加費の金額(4,500円)をいただくことになります。

※学生で非会員の方は、学生証をご提示ください。2,500円（当日3,000円）になります。

※昼食は各自ご用意ください。

使用言語：大会における公用語は日本手話となります。

※音声日本語への読み取り通訳はございません。

※基調講演は日本手話への通訳がつきます。

注意事項

事前申込は、6月25日(土)までとなります。

申し込み先URL

<http://kokucheese.com/event/index/392958/>

内堀 朝子（うちぼり あさこ）



日本大学生産工学部教授。
2000年、コネチカット大学言語学科よりPh.D.取得。専攻は生成文法理論に基づく統語論で、主に日本語や日本語古語などを分析。2009年頃より日本手話の統語構造に興味を持ち、関連する研究会・ワークショップなどに参加し、日本言語学会、日本手話学会などで口頭発表。特に、WH文、文末指し、受動態などに注目。

① 研究発表の表題と要旨

「日本手話におけるロールシフト - 第二言語学習者の立場から-」 野口岳史

昨年に引き続き、ロールシフトの定義を先行研究より再確認するとともに、第二言語学習者のロールシフトの表出を調査し、手話指導においてどう生かすか考察する。

② パネルディスカッション（14時～16時）

「日本手話教育～手話言語条例制定からみた日本手話教育のあり方～」

【パネリスト】

▼日本手話学会 会長 末森 明夫 氏

▼学校法人明晴学園 校長 榎 陽子 氏

▼国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科 主任教官 市田 泰弘 氏

▼NPO法人手話教師センター 理事長 赤堀 仁美

* 表題や要旨はあくまでも予定であり、内容が変わる場合もあります。あらかじめご了承ください。